



# 環境報告書 2018

Omikenshi Environmental Report



オミケン 株式会社

## — も く じ —

ごあいさつ	1
<b>環境経営</b>	
環境理念 / 基本方針	2
行動指針 / 環境マネジメント	3
中期プログラムとその推進	4
環境対応製品開発と活動経過	4～5
<b>環境保全活動</b>	
環境負荷	6
エネルギー使用量 <電 気>	7
エネルギー使用量 <燃 料>	8
エネルギー使用量 <水 >	9
教育活動・資格取得 / 工場安全大会	10
<b>地球温暖化対策</b>	
GHG排出量	11
ゼロエミッション / 太陽光発電	12
PRTR / 大気・水質 / PCB関連	13
<b>エコ・プロダクツの推進</b>	
機能商材	14
非繊維事業展開	15
秋季展示会	16
<b>会社概要</b>	17



**第15回 JAPAN YARN FAIR**  
2018年2月21日～23日  
於：一宮市総合体育館



**FASHION WORLD TOKYO** 国際生地・素材展  
2018年4月4日～6日 於：東京ビッグサイト



**ANEX 2018 東京**  
2018年6月6日～8日 於：東京ビッグサイト

【報告対象期間】  
原則として、2017年4月1日から2018年3月31日までの活動を報告していますが、それ以前や直近の活動報告も含んでいます。



オーミケンシ株式会社  
代表取締役社長  
**石原 美秀**  
ISHIHARA YOSHIHIDE

## ごあいさつ

2017年11月6日より18日まで、ドイツのボンにおいて国連気候変動枠組条約第23回締約国会議「COP23」が開催され、パリ協定実施に向けての準備作業を一步前進させました。

2016年に発効したパリ協定は、基本的には2020年以降の取組みであり、その為に次回のCOP24でのルールブック合意を目指していますが、温暖化を+1.5~2.0℃に留める目標は、現時点の各国の目標を全て足しても届かず、更なる目標の上方修正が不可欠となりました。

これら不十分な進捗を鑑み、2018年から「包括的促進的対話」をスタートさせる旨確認し、それを『タラノア対話』と名付けました。

日本は、世界からの信頼回復の為にさらなる行動強化を求められており、原発事故による止むを得ない判断があるものの、親石炭火力電源方針からの脱却を目指さねばなりません。

またG7では、海洋プラスチック憲章を発表するなど、原油を原料とする製品から、生分解性であるセルロース由来の製品の普及が求められています。

このような世界情勢の中、当社は、「人へのやさしさ、暮らしへのやさしさ、地球へのやさしさ」を企業理念として掲げ、他業種とのコラボレーションのみならず、環境素材の製造方法にもこだわってモノづくりを進めて参ります。当社だからこそできる技術で“再生セルロース開発センター”を目指して参ります。

今後も、産学連携や異業種との共同開発を推し進め、セルロースナノファイバー、カーボンナノチューブ分散剤、キチンナノファイバーの応用、皮膚フローラ調整素材の開発など、衣料用途に留まらず産業資材や医療分野を見据えた環境にやさしい新素材の開発にも注力して参ります。

おかげ様を以て、昨年当社は創立100周年を過ぎ、本年101年目を迎えました。新たなオーミケンシとしてスタートを切るべく、『構想は大胆に！行動は慎重に！』をポリシーに掲げ、次の100年に向けて邁進する所存でございます。

本報告書では 『2017年度の環境経営活動とその取組み状況』をご報告致します。弊社の環境活動への取組み姿勢や次世代環境製品の一端をご理解頂き、今後ともご指導、ご支援を賜れば幸いに存じます。



2018年 9月

## 【環境経営】

### 〈環境理念・経営目標〉

人と地球と暮らしへのやさしさを追求

環境配慮型の事業構造を構築し、環境を守る企業としての存在感を創ります



収益性と企業価値の向上

世界において存在感のある素材メーカーとしての地位を確立し、その素材を生かしたテキスタイル・製品展開により心のゆとりと豊かさを提案します

### 〈環境基本方針〉



#### 技術開発

オミケングループの総力を結集し、人と地球環境にやさしい技術開発に取り組み、環境対策を進めます。



#### 環境保全

製品の設計・製造・販売・回収・廃棄に至るすべてのプロセスにおいて、環境に及ぼす影響を予測し、評価し、低減し環境保全に努めます。



#### 社会貢献

事業活動を通じてのみならず、地域社会の一員としても社会や地域の環境保護活動に積極的に参画します。

〈環境行動指針〉



人と環境にやさしい商品の開発・製造と提供に努めます。

省エネルギーの推進で、地球温暖化防止に努めます。



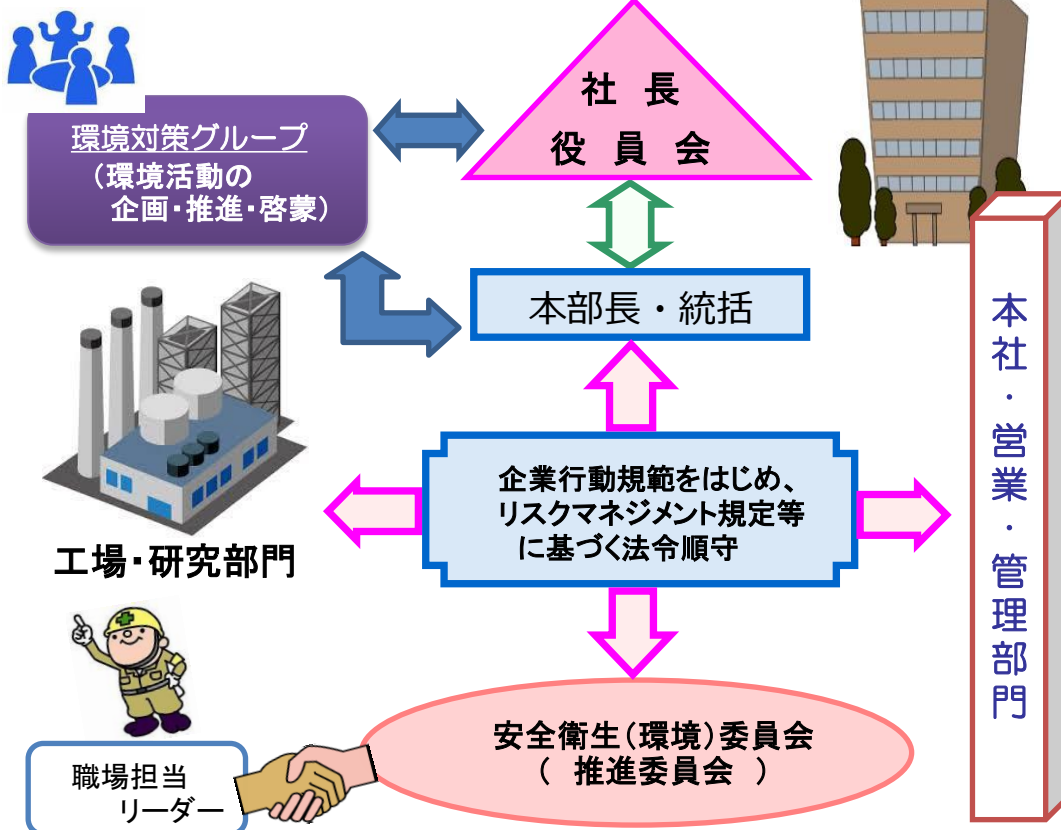
3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進を図ります。

国、自治体等の環境規則を守り、自主管理基準の設定・維持・検証に努めます。



社員一人ひとりの環境意識の高揚と環境教育の推進を図ります。

〈環境マネジメント体制〉



☆この組織は、事故・災害時は勿論、日常の環境保全活動に至るまでの組織体制を示します。

# 【環境経営】

## ☆☆☆ 中期プログラムとその進捗 ☆☆☆

＜重点課題＞	＜中期計画目標＞	＜継続的取り組み状況＞
1. 環境マネジメントシステム構築 (EMS)	*統合的な管理・監査体制の構築 ・環境監査の実施 ・リスクマネジメントシステム導入 ・従業員教育の充実	・環境経営対策室設置(2002/9～) ・環境経営度調査実施(2003～) ・環境対策グループ創設(2005/7～) ・新入社員教育実施 (環境報告書 他に)
2. エネルギー対策	・エネルギー原単位の向上 ・CO <sub>2</sub> 削減目標の達成(総量) ・ボイラー設備及び燃料の見直し	・省エネルギーの見直し (電気・油・蒸気など目標管理の導入) ・ボイラー設備更新と燃料見直し(RPFの混合使用)
3. 産業廃棄物低減	*産業廃棄物処理費の低減 (ゼロエミッションの実現)  *排出依頼業者の現地調査強化	・発生源見直し(Reduce) / 排出物の再利用(Reuse) ・廃棄物の有価販売促進(Recycle) ・廃棄物の一時保管場整備(加古川) ・廃棄物処理業者の実態把握と依頼先実態調査(毎年)
4. 化学物質管理強化	*PRTR法遵守 ・対象物質の削減 ・化学物質管理データベース構築	・正確な実態把握と推移追跡 ・PCBの安全管理と最終処分対策 ・基準値管理と目標管理の確立
5. グリーン購入・調達	*グリーン購入・調達の実施	・購入品の選定と購入先の研究 / 適合製品の企画販売
6. エコビジネス推進	*エコビジネスの拡大 ・新規商品の開発・販売拡大	・環境関連商品の立ち上げ(Recycle) ・エコビジネス推進
7. 環境情報開示	*「環境報告書」の継続的発行 *教育・啓蒙活動の実施	・環境報告書の作成 (2003年より毎年発行へ)

## ▼ ▼ ▼ 環境対応製品開発と活動経過 ▼ ▼ ▼

オーミケンシグループの”環境配慮設計”に基づく商品開発と、環境保全活動の経過は以下の通りです。

年	月	＜オーミケンシ＞ 環境配慮型開発繊維	＜目 本＞ 法令・規制	＜世 界＞ COP 他
1995	9	クラビオン発売		COP1(ベルリン)気候変動枠組条約締結国会議
1997	3	①兵庫県エコビジネス振興賞受賞 ②通商産業大臣賞受賞 (リサイクル推進功労者等) } クラビオンで表彰	・容器包装リサイクル法施行 (ビン、PETボトル '97/4～)	COP3 地球温暖化防止京都議定書(京都議定書) (125カ国が批准/2005年2月16日発効)
	10		・プラスチック容器、包装等は '00/4～)	
1999	7		・化学物質排出管理促進法(PRTR法)公布	COP5(ボン)
2000	4	・ISO 9001取得 (大垣EP事業部)	・タイキシン類対策特別措置法施行('00/1)	COP6(ハーグ)
	12	紀州備長炭繊維発売	・循環型社会形成推進基本法公布('00/6)	
2001			・家電リサイクル法、グリーン購入法施行('01/4)	COP7(マラケシュ)
			・PCB特別措置法施行('01/7)	
2002	1	パボリス発売		COP8(ニューデリー) ・地球環境サミット(ヨハネスブルグ)
	9	・＜環境経営対策室設置＞	・土壌汚染対策法公布('02/5)	
	11	・産業廃棄物処分状況調査開始	・建築基準法改正施行('02/12)	
	12	・2001年度環境経営度調査開始	・シックハウス対策	
2003	1～3	・産廃業者訪問調査	・土壌汚染対策法施行('03/2)	COP9(ミラ)
	4		・改正省エネ法施行 ('03/4)	
	9	・2002年度環境経営度調査(以降、実施を定期化)	・改正リサイクル法施行('03/10)	
	12	・「環境報告書」(2003年版)初版発刊	・東京都環境確保条例('03/10)	
2004	6	・2003年度環境経営度調査	※PCB廃棄物処理事業スタート(2004/12)	COP10(アルゼンチン/ブエノスアイレス) (日本環境安全事業(株)が北九州から)
	7	97.6°F(華氏97.6)発売	※'05年=愛知・東京'06年=大阪・北海道	
	9	・「環境報告書」(2004年版)発行		
2005	1～	・産廃業者訪問調査	・自動車リサイクル法施行('05/1)	・京都議定書発効(2005/2)
	6	・2004年度環境経営度調査	※愛地球博('05/3～9)	
	10	・「環境報告書」(2005年版)発行	・地球温暖化防止国民運動('05/6～)	
2006	5	HOPE-FR / NEXT-FR発売	・アスベスト新法施行	・(EU) RoHS 指令スタート (特定有害6物質使用制限) COP12(ケニア/ナイロビ)
	6	・2005年度環境経営度調査	・改正省エネ法施行('06/4)	
	10	・「環境報告書」(2006年版)発行		
	11	リフレール発売		
2007	4	水解レヨン発売	・PRTR法:対象物質見直し	(EU) REACH規制 発効 ・中国版 RoHS指令スタート COP13(インドネシア/バリ島)
	6	・2006年度環境経営度調査		
	10	・「環境報告書」(2007年版)発行		
2008	3	・[ECO-TEXSTYLE展開権](大阪・東京)	・工場立地法改正:工場立地敷地面積見直し	・京都議定書第1約束期間開始('08～'12) ・洞爺湖サミット ・北京オリンピック
	4	ケナフレヨン発売 プラチナレヨン発売	・化学物質排出管理促進法(PRTR法)改正 ・省エネ法・地球温暖化対策推進法 改正	

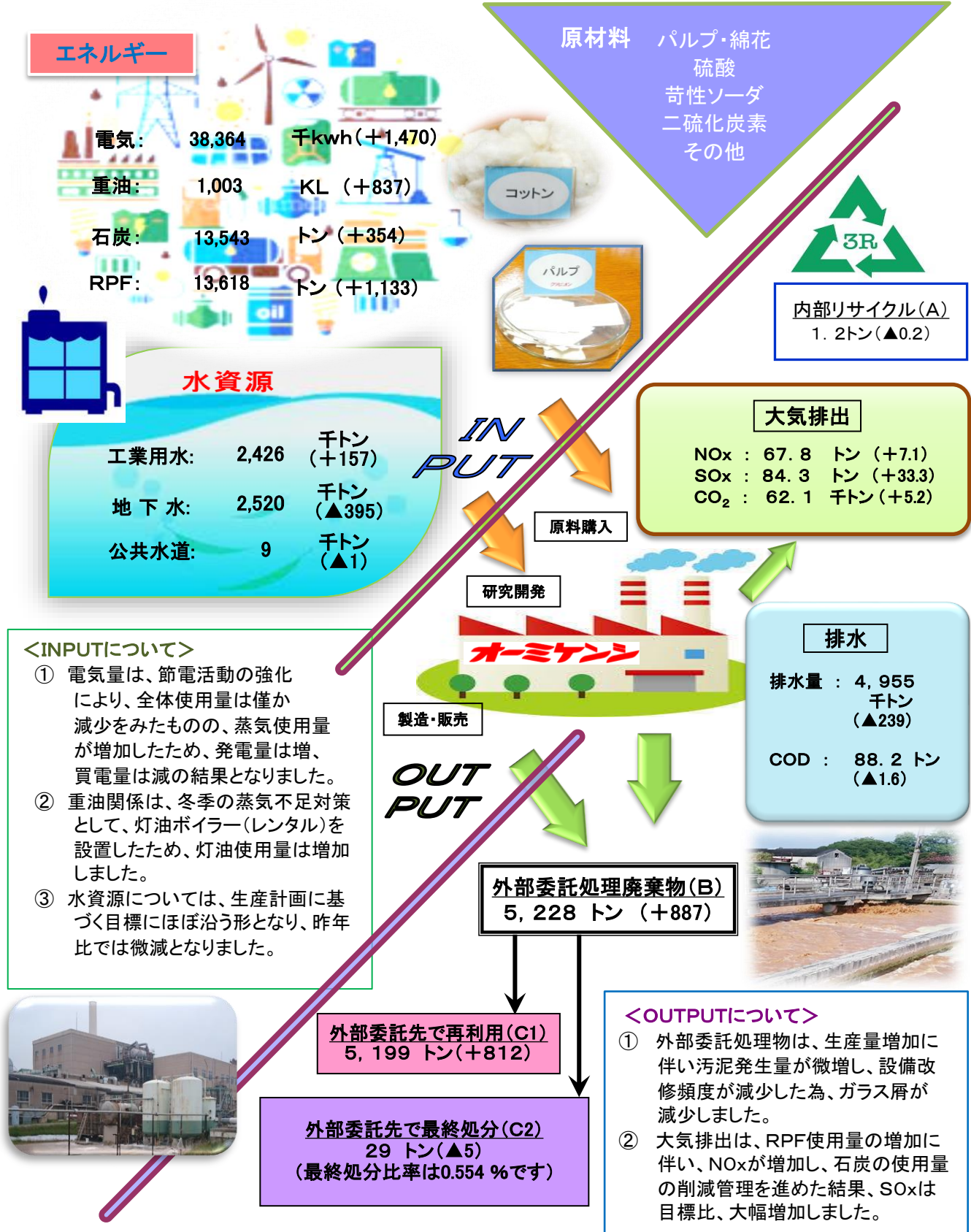
年	月	<オーミケンシ>	<日 本>	<世 界>
		環境配慮型機能繊維	法令・規制	COP 他
2008	6	・「サミット記念環境総合展」に出展 ・2007年度環境経営度調査	・生物多様性基本法施行<6月>	COP14(ポーランド/ポズナン)
	10	・「台北テキスタイルフェア(TITAS)」及び「インターテキスタイル上海」に出展 ・「環境報告書」(2008年版)発行		・(EU)REACH規制~運用開始
	12	※クラブピオン⇒日本アトピー協会推薦商品の認証取得 ※パボリス・97.6° F・リフレール(3種) ⇒ エコテックス・スタンダード100の認証取得		
2009	6	<b>ソーラタッチ発売</b> ・2008年度環境経営度調査	※生物多様性企業活動ガイドライン ※(内部統制報告書の提出義務化;3月~)	COP15(デンマーク/コペンハーゲン)
	8	※レギュラーレーヨン ⇒ バイオマスマーク取得	・温暖化対策推進法改正	・・・ポスト京都(2013年以降)枠組決定
	9	・「上海SpinEXPO」及び ・「台北テキスタイルフェア(TITAS)出展」	※2009年度エネルギー使用量から把握 → '10年度から報告義務(改正省エネ法)	
	10	・「環境報告書」(2009年版)発行		
2010	2	<b>アミセル発売</b>	・改正省エネ法施行<4月>	COP16(メキシコ/カンクン):
	4	・2009年度環境経営度調査	・・・・企業単位報告制度開始	気候変動枠組条約会議
	5	・総合展示会「テキスタイルイノベーション2010」 <b>リ・テラ</b> 発表(草本レーヨンなど・・・5種類)	・土壌汚染対策法 改正	・上海万博開催(5~10月)
	9	・「SpinExpo 16th Shanghai」出展 ・「環境報告書」(2010年版)発行	・PRTR対象物質改正(1,2種合計:435→562へ)	COP10(名古屋)生物多様性条約締約国会議
	10	・「台北テキスタイルフェア(TITAS)出展」	・東京都環境確保条例施行(C&T式排出量取引) ・廃棄物処理法改正(処理業者の実地確認など)	
2011	3	第8回ジャパン・ヤーン・フェア(一宮) 出展	・3.11東日本大震災	
	4	・2010年度環境経営度調査		
	9	国際フロンティア産業メッセ2011 出展(於:神戸) ・「環境報告書」(2011年版)発行	・「東日本大震災により生じた災害廃棄物の 処理に関する特別措置法」の制定	
	10	<b>台北テキスタイルフェア(TITAS)にて「サーモベール」発表</b>		COP17 開催(南アフリカ/ダーバン)
	12	エコプロダクツ2011(東京ビッグサイト) 出展		COP/MOP7 開催( " )
2012	2	第9回ジャパン・ヤーン・フェア(一宮)出展		COP18 開催(カタール/ドーハ)
	4	2012上海紡織服装展示会 出展		COP/MOP8 開催( " )
	6	・2011年度環境経営度調査⇒「環境報告書」発刊	改正水質汚濁防止法 施行	
	7	ビジネスマッチングフォーラム参加		
	10	<b>台北テキスタイルフェア(TITAS)出展</b>	改正環境教育等促進法 施行	
2013	2	第10回ジャパン・ヤーン・フェア(一宮)出展		
	3	・『オーミケンシ・レーヨンの日』制定<3月4日>	「フロン回収・破壊法」	
	11	(以降、環境報告書は毎年度定例化)	⇒「フロン排出抑制法」へ改訂(6月)	COP19 開催(ポーランド/ワルシャワ)
2014	2	第11回ジャパン・ヤーン・フェア(一宮)出展		
	3	・『オーミケンシ・レーヨンの日』>展示会開催		COP20 開催(ペルー/リマ) 12月
2015	2	第12回ジャパン・ヤーン・フェア(一宮)出展		
	3	・『オーミケンシ・レーヨンの日』>展示会開催 機能繊維フェア出展 (ノネナール消臭繊維「カキトニ」)	4月「フロン排出抑制法」施行	
	11	第5回バイオマス製品普及推進功績賞 受賞 ⇒ (折り鶴レーヨンによるミラノ博イメージアップ貢献)		
	12	エコプロダクツ2015(東京ビッグサイト) 出展 ⇒ (折り鶴レーヨン製品、ミラノ博ストラップ)		COP21 開催(フランス/パリ)
2016	2	第13回ジャパン・ヤーン・フェア(一宮)出展		
	3	・『オーミケンシ・レーヨンの日』>展示会開催	「グリーン購入法」一部改定	
	5	プレミアムテキスタイルジャパン(東京)展示参加	環境基本法 一部改定	
	8	第3回先端繊維素材シンポジウム参加(東京) Living WonderLand 2016(東京)出展	PCB処理法改訂	COP22 開催(モロッコ/マラケシュ) 11月
2017	2	第14回ジャパン・ヤーン・フェア(一宮)出展		
	7	日本セルロース学会 技術賞受賞	化審法 一部改正	
	11	加古川コットンサミット 出展(機能紡績系)	省エネルギー法 改正	
	10	<b>「オーミケンシ・レーヨンの日」展示会開催(東京・大阪)</b> ⇒ 創立100周年記念 機能素材展	廃棄物処理法 一部改正(水銀処理)	COP23 開催(ドイツ/ボン) 11月
12	エコプロ~環境とエネルギーの未来展~ 出展	土壌汚染対策法 改正		
2018	2	第15回ジャパンヤーンフェア(JYF) 出展		
	4	ファッションワールド東京2018に「温故知新」シリーズ出展		COP24 開催予定(ポーランド/カトヴィツェ)12月

# 【環境保全活動】

## <2017年度 環境負荷>

オーミケンシにおける "2017年度の環境負荷" の全体像は以下の通りです。

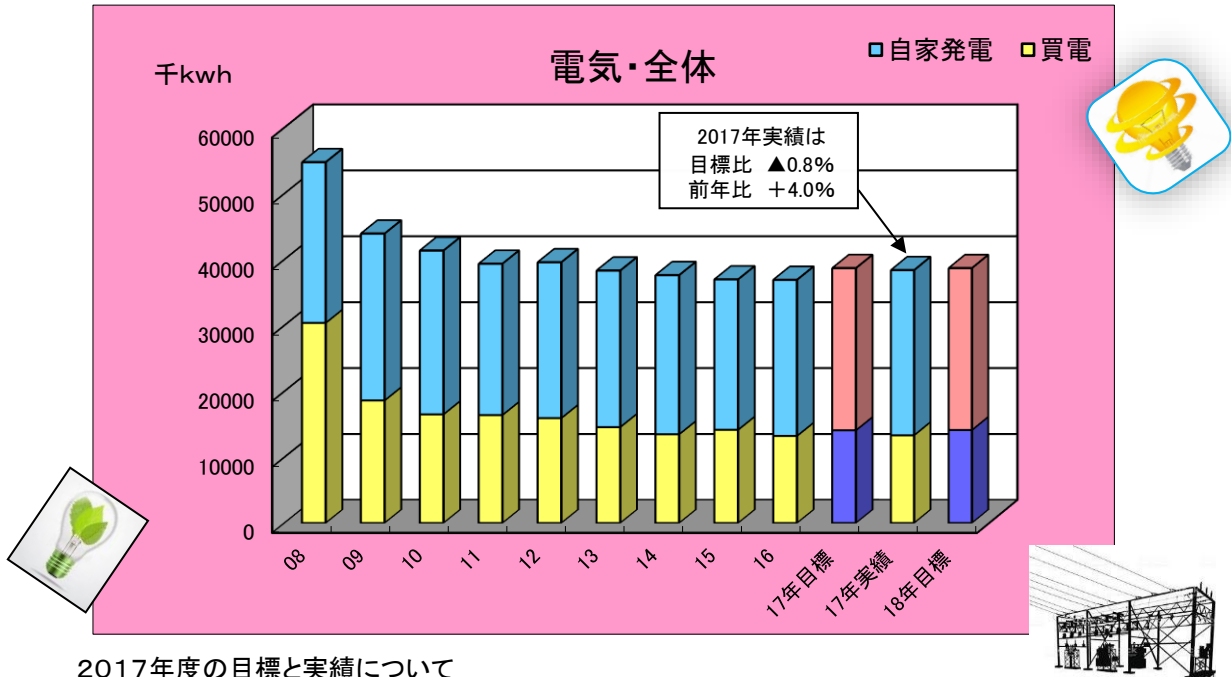
注：( )は 前年度実績との差異 (+:増加、▲:減少)





## ＜エネルギー使用量 ～電 気～＞

### 2017年度使用量

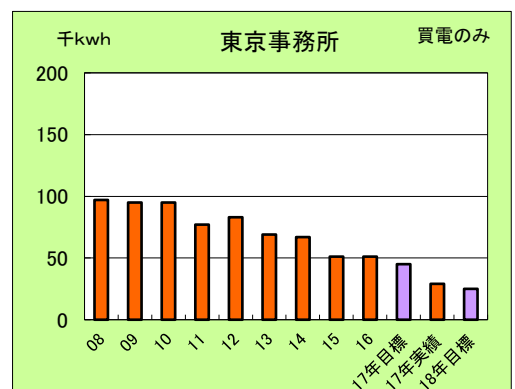
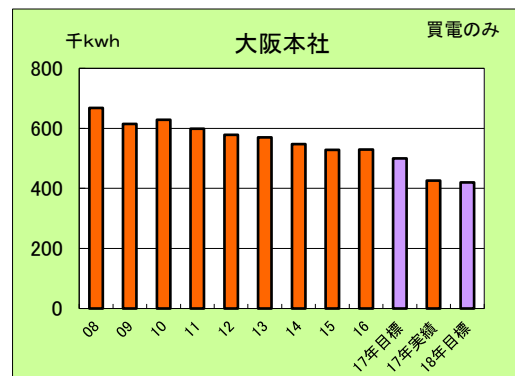
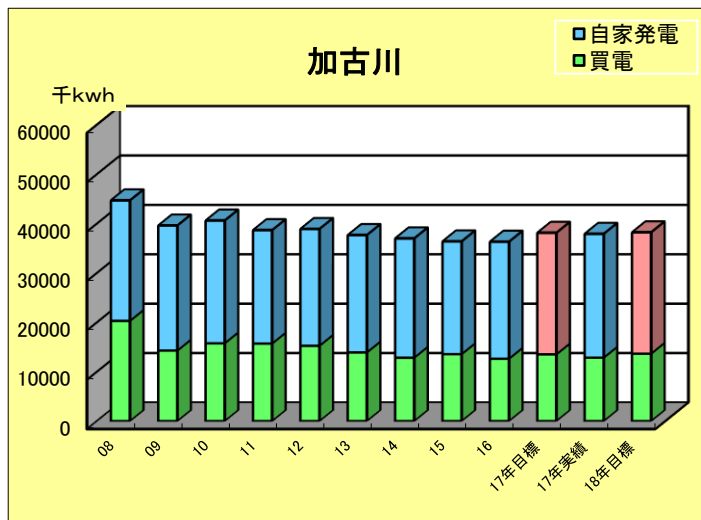


#### 2017年度の目標と実績について

- 1) 2017年度電気の総使用量は38,364千kwhで目標比で0.8%の減少でした。
- 2) また、前年比では4.0%増で、生産増強に伴う増加です。

#### 各事業場別使用結果

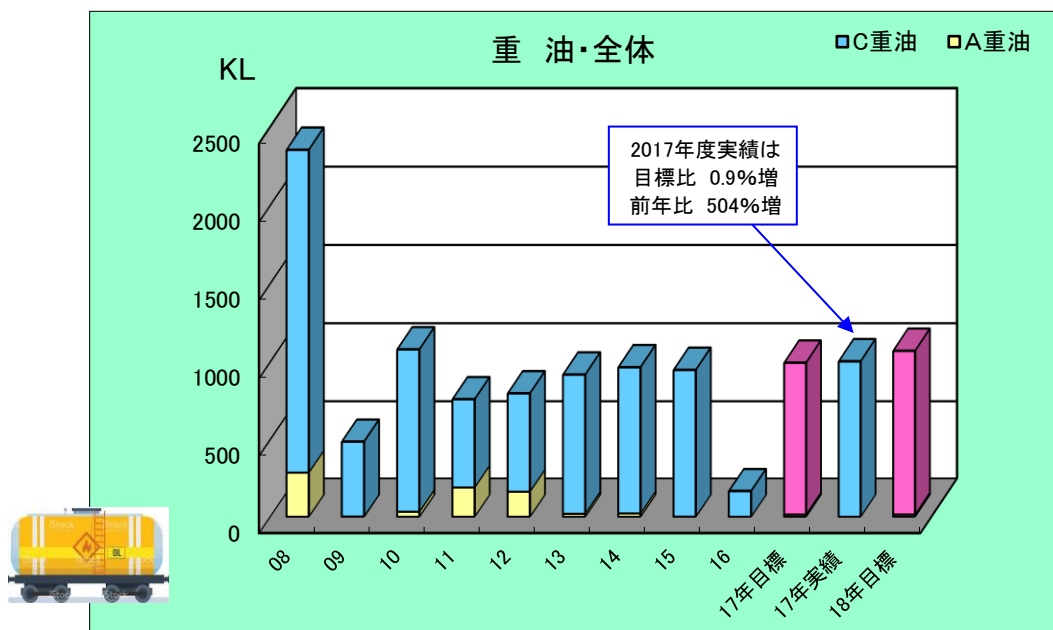
- ①加古川：'17年実績は目標比 0.6%減、前年比 4.4%増となりました。
- ②本社及び東京事務所：'17年実績は事務スペースの省力と集約により若干の減少となりました。



# 【環境保全活動】

## ＜エネルギー使用量 ～燃料～＞

### ＜重油＞（空調用とディーゼル発電用）

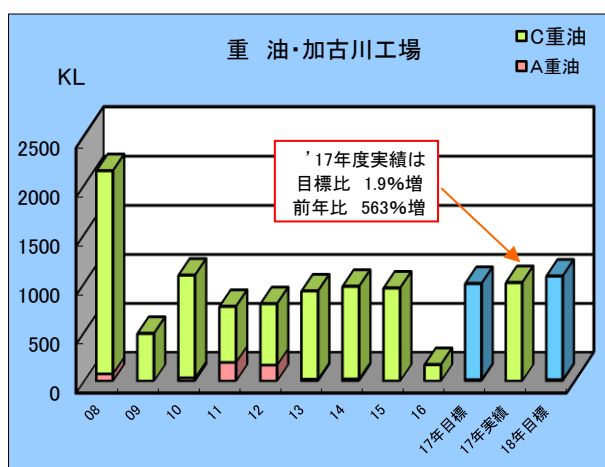


#### 2017年度の目標と実績について

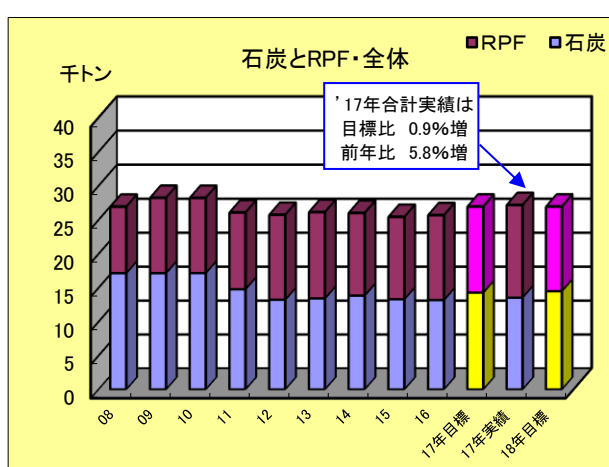
- 2017年度の燃料重油総使用量は、冬期の蒸気不足対策として、灯油ボイラーを設置した為、灯油使用量が増加しましたが、全体量としては、平年並みで推移しました。  
尚、2016年度は、一時的大幅減産に伴い、重油全体が大幅減でした。
- 『石炭とRPF量』は、RPF使用を増やし、石炭を減らしましたが、全体量としては、微増で推移しました。  
尚 RPFの混合率は50.1%で、ほぼ最高設定目標値に達しています。



### ＜A・C重油＞



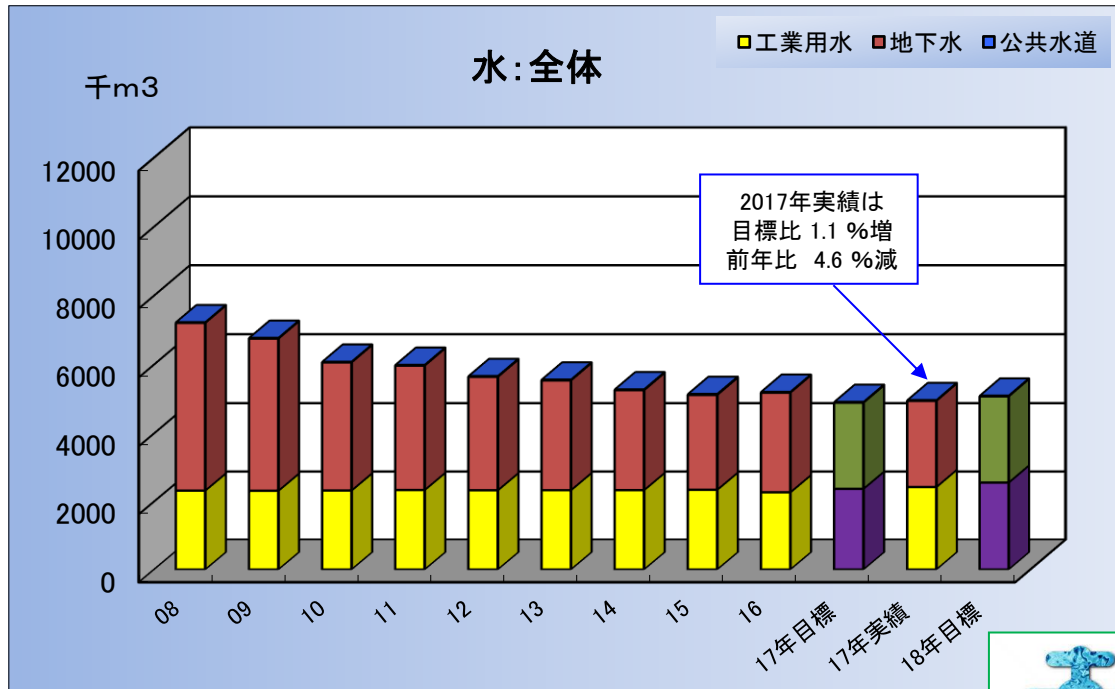
### ＜石炭及びRPF＞（汽力発電用）



#### 改正 省エネ法（諸手続き）

- (イ) 2016年度実績(2016/4～2017/3)から、企業全体総エネルギーが原油換算1500KL以上として特定事業者登録済み。  
**加古川工場分も合わせて実績を近畿経産局へ届出済み。**
- (ロ) エネルギー管理統括者(A)・エネルギー管理企画推進者(B)の届出／**本社管轄の近畿経産局へ届出済み。**

## ＜エネルギー使用量 ～ 水 ～＞

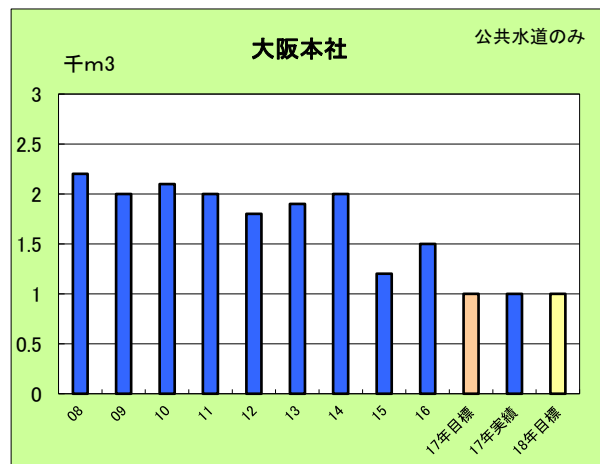
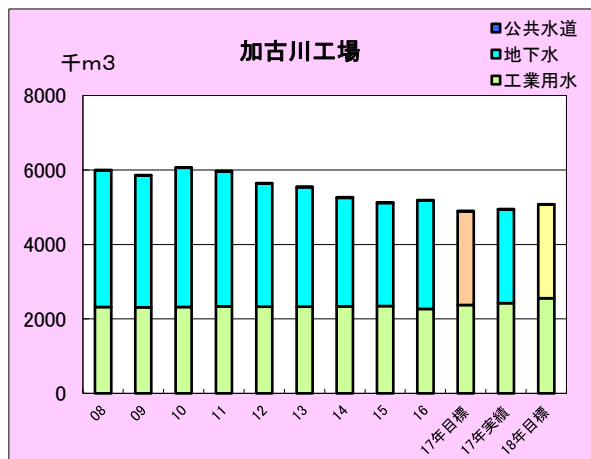


### 2017年度の目標と実績について

- 1) 2017年度の水総使用量は 4,955千トンで、全社的に節水活動に取り組み、加古川工場での生産活動も順調に推移した為、平年並みで推移しました。
- 2) 2009年度までは津、大垣、飯田の各休止工場のデータ推移を含んでいます。

### ◆◆◆ 事業場別使用結果 ◆◆◆

- ① 加古川工場 : '17年度は前年実績比 4.6%増。      ② 本社 : 節水運動の推進と事務スペース集約により減少しました。



# 【環境安全活動】

## ＜環境教育・資格取得状況＞

(2018年7月1日時点)

種 別		人数	
エネルギー関連	電気主任技術者 第3種	3	
	エネルギー管理士	5	
	ボイラータービン主任技術者 第2種	2	
	ボイラー取扱作業主任者 特級	2	
	ボイラー整備士	3	
	ボイラー技士	特級	2
		1級	2
2級		7	
電気工事士 第1種	2		
公害関連	公害防止管理者	水質第1種	4
		水質第4種	1
		大気第1種	3
		大気第3種	1
消防関連	危険物保安監督者	5	
	危険物取扱者	甲種	15
		乙種	59
		丙種	2
	消防設備点検資格者 第1種	1	
	消防設備士	甲種	3
		乙種	4
防災管理者	2		
防火管理者	6		
安全衛生関連	作業環境測定士	1	
	衛生管理者	10	
	酸素欠乏危険作業主任者(2種)	10	
	特定化学物質等作業主任者	23	
	有機溶剤作業主任者	20	
	乾燥設備作業主任者	2	
他	特別管理産業廃棄物管理責任者	2	
	環境社会検定(ECO検定)	1	
総計		203	

- ※ 今後とも教育の一環として取得指導をしていきます。
- ※ 新入社員には環境報告書を教材とした研修を実施しています。

## 2018 加古川工場スローガン

『早くやるより正確に 焦ってやるより確実に 一息入れて 安全行動』

- < 加古川工場では、活発な安全衛生委員会活動を推進し、安全意識の高揚を図り、>
- < 災害の無い明るい職場づくりを目指しています。>



## ＜加古川工場 安全大会＞

第91回  
**全国安全週間**

平成30年7月1日(日)～7日(土)

スローガン  
新たな視点で見つめる職場 創意と工夫で安全管理  
惜しまぬ努力で築くゼロ災

黒田 事業部長 挨拶

尾上神社宮司による安全祈願

**安全 + 第一**

安全標語入選の  
化繊原液  
菊池さん

安全標語審査結果  
を報告する  
早崎安全環境推進室長

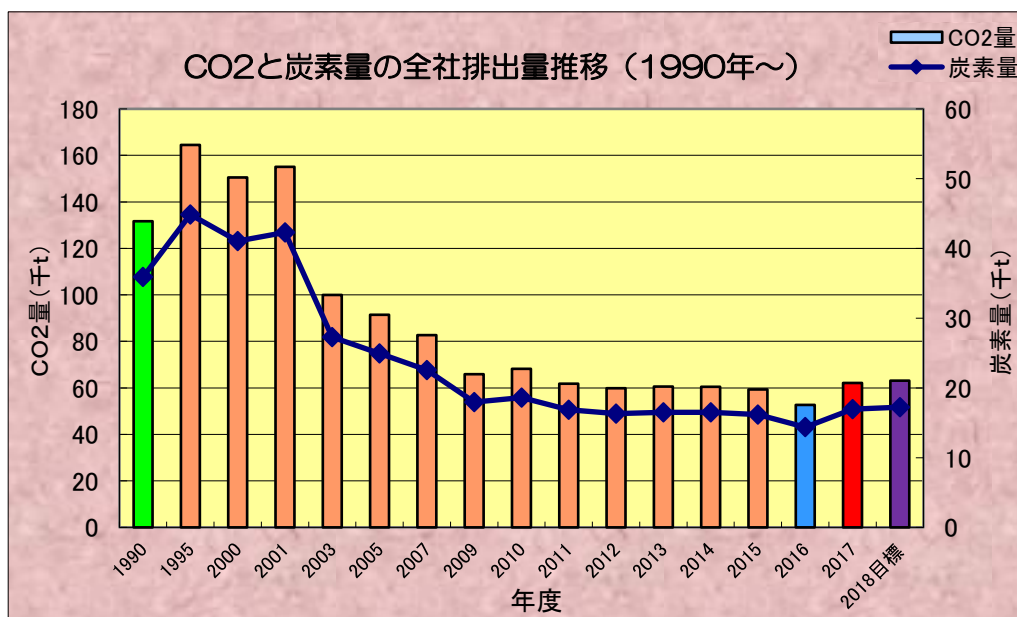
年間無災害表彰  
事務課代表 渡部さん

# 【地球温暖化対策】

## ＜GHG (Green House Gas) 排出量＞

公表された直近(2016年度)の国内総排出量は、13億2200万トンで前年比▲0.2%、2005年比▲4.6%となりました。前年比で減少した要因としては、再生可能エネルギーの導入拡大や原発再稼働により、エネルギー起源のCo2排出量が減少した事などが挙げられます。  
また、2005年比での減少は、オゾン層破壊物質からの代替に伴い、冷媒分野において、ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)は増加した一方で、産業部門や運輸部門におけるエネルギー起源のCo2排出が減少した事が挙げられます。

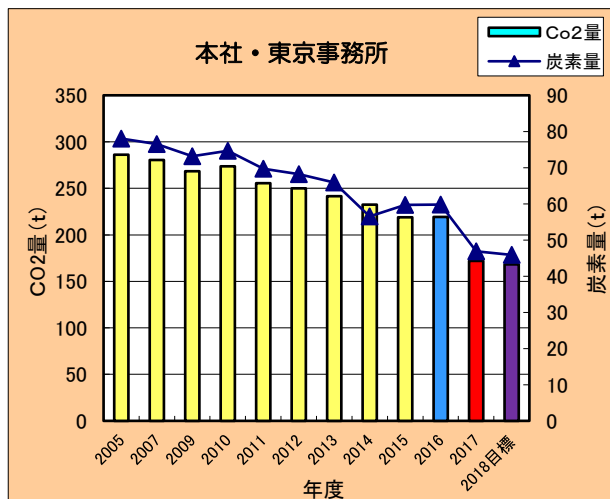
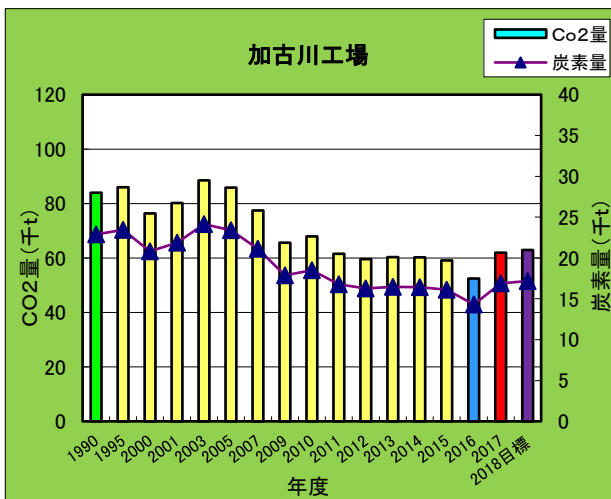
## ＜CO<sub>2</sub>総排出量推移＞ 【加古川工場と2事務所の総排出量について】



(上表では電力係数は'15年度の10電力平均係数=0.378kg-co<sub>2</sub>を継続して使用しています。)

- 1) 2017年度全社CO<sub>2</sub>総排出量は、操業度改善による生産増で、62,117トンとなり、前年対比18%増でした。
- 2) 2017年度実績値は、1990年比で53%の減少となりました。

## ＜各事業場実績＞

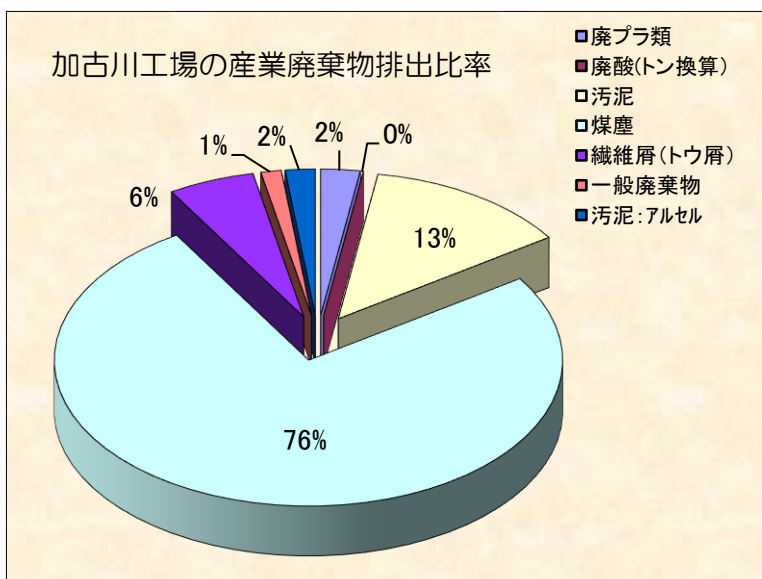


# 【地球温暖化対策】

## ＜ゼロエミッションに向けて＞

### ① 産業廃棄物について

加古川工場の委託引取り量は5,228 t/年でした。生産増と操業度アップに伴い、汚泥発生量が微増しました。また、設備改修作業がひと段落し、減少した為、



ガラス屑の発生が減少しました。尚、協定報告書基準の変更に伴い、今年度より「一般廃棄物」を「繊維屑」に標記変更致しました。

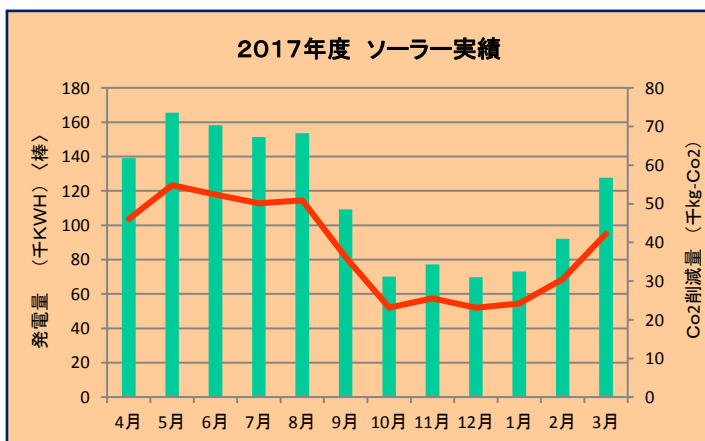
### ② 産廃処理業者の実態調査 (年1回実施継続)

2017年度も不法投棄防止と業者評価を目的とした『産廃処理業者の実態調査』を現地へ出向き実施し、結果問題はありませんでした。また、加古川工場では“委託業者の近距離化”をテーマとして業者との関係安定化を図っています。



※今後とも、『最終処理をリサイクル製品化する業者』を選定しながら、ゼロエミッションを目指していきます。

## ＜メガ・ソーラーシステムの運用＞



当社はこれまで、マザー工場である加古川工場において、様々な環境対策を講じ、レーヨン製造工程においても、環境負荷の低減に努めて参りました。

2013年よりは、再生可能エネルギーの固定買取制度を活用し、大規模太陽光発電設備（メガソーラー）を工場建屋屋上に導入しています。今後とも、更なる環境にやさしいモノづくりを目指して参ります。

＜出力1,100kw、年間発電量117万kwh＞



工場屋根を活用したソーラーシステム

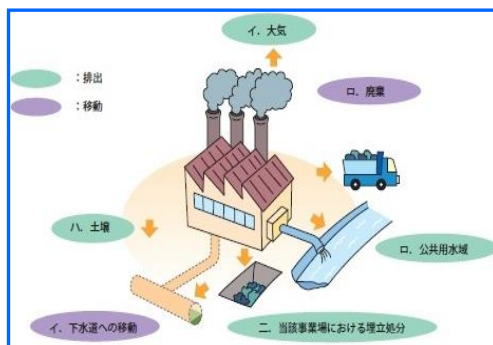
## <PRTR・SDS関連>

☆ PRTR = Pollutant Release and Transfer Register  
★ SDS = Safety Data Sheet

### 1) 第1種指定化学物質の排出量と移動量調査

・2009年10月施行のPRTRに関する法改正に伴って第1種指定化学物質が462物質に、特定第1種化学物質が15物質に(従前は12物質) また第2種指定化学物質が100物質(従前は81物質)に増えました。

・世界の動向は 2020年までに化学物質が人の健康や環境に与える悪影響を最小限に抑える方向に向かって、EUではREACH(新化学品規制)にて、日本では改正化学物質審査規定法にて推進されています。



<加古川工場> (以下報告は第1種指定化学物質は1t/年以上、特定第1種指定化学物質は0.5t/年以上の法令に基づいています)

第1種指定化学物質届出書より (トン/年)

物質名	号番号	排出先	排出量		移動先	移動量	
			16年度	17年度		16年度	17年度
亜鉛の水溶性化合物	1	公共水域	5.1	4.5	事業所外	0.0	0.0
		事業所内	0.0	0.0			
二硫化炭素	318	大気	96.5	102.0		0.0	0.0

PRTR指定の354物質取扱総量より(トン/年)

	総取扱量	総排出量	総移動量
2016年実績	1,056	101.6	0.0
2017年目標	1,320	127	0.0
2017年実績	1,370	106.5	0.0
2018年目標	1,370	127	0.0

※ 事業所外への移動量は2012年度よりゼロとなりました。

### 2) 大気・水質への影響調査

加古川工場	実績値	判定	管理基準値
NO <sub>x</sub>	2015年実績	<	170 (t/年)
	2016年実績		
	2017年目標		
	2017年実績		
	2018年目標		
SO <sub>x</sub>	2015年実績	<	173 (t/年)
	2016年実績		
	2017年目標		
	2017年実績		
	2018年目標		
COD	2015年実績	<	153 (t/年)
	2016年実績		
	2017年目標		
	2017年実績		
	2018年目標		

#### <評価>

- NO<sub>x</sub>: 燃料の総使用量増加に伴い、RPF使用が増えた為、増加しました。
  - SO<sub>x</sub>: 産廃発生量を抑えるべく、脱硫剤使用の削減管理を行った結果、総排出量が目標値比、大幅増加しました。
- 以上 全指標共に管理基準値を厳守し、問題ありません。



特別管理産業廃棄物保管場所	
廃棄物の種類	廃PCB
管理者氏名	原動課長 和田 安正
連絡先	原動課 079-422-3891
注意事項	関係者以外立ち入り禁止 移動、持ち出し禁止



### 3) PCB(特別管理産業廃棄物)の保有量と管理履歴

(トランスおよびコンデンサー)

( )は使用中の台数で、かつ内数です

	総計
2004年度 (2005/3末)	201(4)
2013年度 (2014/3末)	469
2014年度 (2015/3末)	469
2015年度 (2016/3末)	469
2016年度 (2017/3末)	469

- 現有469台内訳… コンデンサ(高圧45、低圧414) トランス10
- 左表には、小型安定器等微量入りは含んでおりません。
- 2017年3月末保有分については、JESCO荷姿登録完了。(最終処分日程の調整中)
- 2017年度の掘り起し作業において、新たにコンデンサ3台を追加登録。

# 【エコ・プロダクツの推進】

**Botaniful**  
ボタニフル

植物オイルを練りこんだ、自然派レーヨンシリーズ。  
肌に潤いを与え、しっとりソフトなタッチ感。乾燥しがちなお肌にやさしさを。

## 紅椿 Camellia Oil Rayon

“肌の表面に潤いベールを作り、水分バランスをキープ”

皮膚に含まれる脂肪酸の主な構成要素のひとつにオレイン酸があります。オレイン酸は保湿性に富み、皮脂膜のケアをしてくれます。椿オイルには**85%以上オレイン酸が含まれており**、スキンケアやヘアケアなどで幅広く使用されています。他にもオレイン酸を多く含むことから、酸化・劣化されにくい油とされています。

※オーミケンシでは、国産のヤブツバキの種子から採取される植物性油を使用しております。

オレイン酸含有率(%)



乾燥しがちな肌にやさしさを  
椿オイルで潤いベール

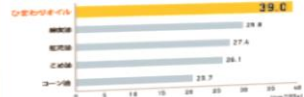
角質層の水分が少なくなると乾燥肌になり、お肌トラブルの原因となります。紅椿は、オレイン酸を多く含む椿オイルを使用しているため、かさつきがちなお肌にやさしさをお届けします。

## ひまわりオイルレーヨン Sunflower Oil Rayon

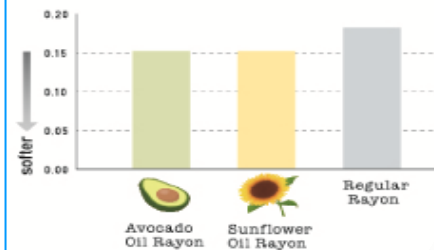
たっぷりの「ビタミンE」でエイジングケア

ひまわりオイルレーヨンは、太陽のエネルギーを受けて育つひまわりの種から抽出したオイルを使用しています。ひまわりオイルに含まれる**ビタミンE**の含有量は植物オイル中トップクラスです。ビタミンEは、**エイジングケア**で使用され、肌をすこやかに保ちます。

植物オイルのビタミンE含有量



風合い



## アボカドオイルレーヨン Avocado Oil Rayon

「オレイン酸」と「バルミトレイン酸」の相乗効果で肌を整える。

アボカドオイルには、保湿性に富む「オレイン酸」と、肌を中から美しくする「**β-グルミドレイン酸**」の両方が含まれています。また、エイジングケアで使用される**ビタミンE**も豊富です。アボカドオイルレーヨンには、肌を整えるために最適なアボカドオイルを使用しています。



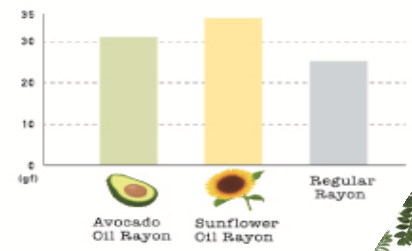
オレイン酸

- 高い保湿力
- 人の肌の皮脂とほぼ同じで、なじみやすい。
- 角質を柔らかくしてハリ、ツヤをもたらす。

β-グルミドレイン酸

- 肌の弾力を高める。
- 紫外線によるダメージを軽減する。
- 肌の老化を防ぐ。

密着性



## ＜高機能加工＞



あずき

あずきの主成分は必須アミノ酸を含むタンパク質でビタミン、ミネラルなども豊富で、ポリフェノールも多く含まれています。肌にハリを与え、エイジングケアに使用されています。

温故  
知新

シリーズ加工



よもぎ

へちま水は古くから化粧水として親しまれ、別名「美人水」とも呼ばれていました。肌を紫外線から守り、潤いを与える美容成分サポニンがたっぷり。江戸城で大奥の女性たちも愛用していたとされる、日本の伝統美容液です。



へちま

古くから親しまれてきた「よもぎ」はハーブの女王と呼ばれています。葉緑素のクロロフィルでの美容効果や、有機ゲルマニウムが紫外線を遮断して、シミやくすみの原因となるメラニンの生成を抑えます。



<ビューティーアイテム>



植物美容  
高機能スキンケア

enery  
NATURAL ENERGY & RECOVERY  
エナリー化粧品



透明感、溢れる。  
ひとりでキメ細かく美しいお肌へ



[エナリー化粧品]は、デリケートな素肌にも安心してお使い頂けるよう  
低刺激性へのこだわりを大切に、商品開発を行っています。  
全てのアイテムに、天然の保湿成分“キトサン”を配合。みずみずしく、  
潤いにあふれる素肌へと導く商品の数々を展開しています。

繊維メーカー  
としての  
スキンケアの研究。

皮膚科学理論に  
基づく専門医の  
研究・開発。

< 食品事業 >

ぶるんちゃん カロリーダイエット麺で作った味付き麺 低糖質で低カロリー

パツと出してサツと食べられる 匠のダイエット麺

ぶるんちゃんカロリーダイエット麺で作った味付き麺



匠のダイエット麺 (ピリ辛ラー油味)



匠のダイエット麺 (和だし味)

はじめてよう!  
糖質もカロリーもダイエット

● 1袋(200g)食べても糖質3gで低カロリー

だしを全部飲んでも1袋あたり和だし味はたったの20kcal、ラーメン風のピリ辛ラー油味でも65kcal。  
ダイエットに動いている時でも罪悪感がありません。そうめんや中華麺、はるさめと比べても低糖質・低カロリーです。

● 常温保存で長持ち、保管も便利

加圧加熱殺菌されています。高温多湿を避けた直射日光のあたらない場所で保管できます。

● コシがあってのどごし抜群

麺はふやけたり伸びたりしないので茹でたての状態でお召し上がりいただけます。



セルロースとグルコマンナンでできた低カロリー食品  
食べたい人に、夢のカロリー お口にぶるんと、新食感。

ぶるんちゃん



麺

真白でぶるんとした食感です。太さは  
そうめんと同じくらいです。パスタやそう  
めん、中華麺と同じように調理できます。



ぶるんちゃん  
カロリーダイエット粒



粒

粒はお米にそっくりな形状です。  
お米と一緒に炊飯しても、炊きあがった  
ご飯に、後から混ぜることもできます。

糖質0gの新しい食品 植物由来のセルロースとグルコマンナンでできています

ぶるんちゃんカロリーダイエット麺と粒

# 【オーミケンシ・秋季展示会】

おかげ様でオーミケンシは2017年を以て、創業100周年を迎えました。先達の築いてきた技術を発展させ、次の100年に向かって、進み続ける想いを込め、この度、秋季記念展示会「HOPE～TSUMUGU～」を開催致しました。当社100年の歩みと新たな素材と、加工技術による様々な商品をご紹介します、多くのお客様から好評を頂戴致しました。

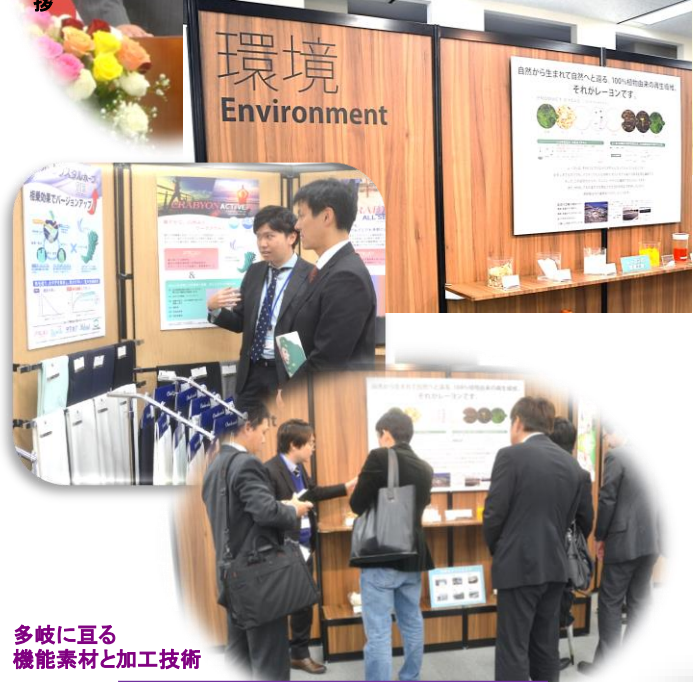


プレス発表者 石原社長挨拶

環境・快適・健康  
の3つの  
コンセプトを  
掲げて...



メインテーマは「TSUMUGU」



多岐に亘る機能素材と加工技術



折り鶴レーヨン 商品群



弊社百年の歴史もご紹介



商談室も盛況でした...

# オミケン株式会社

## <会社概要>

**設立年月日** 大正6年(1917年)8月13日  
**資本金** 32億500万円 (2018年3月31日現在)  
**本社** 〒541-8541  
 大阪市中央区南本町4-1-1  
 TEL(06)6205-7300 / FAX(06)6205-7313  
 E-mail : info@omikenshi.co.jp  
 URL : http://www.omikenshi.co.jp



大阪本社

**代表取締役社長** 石原 美秀 (いしはら よしひで)  
**従業員数** 302人 (2018年3月末グループ全体)  
**主要事業内容** 綿糸・レーヨン綿・レーヨン糸・各種合繊糸・混紡糸の製造・加工・販売  
 各種ニット、織物並びに不織布の加工及び販売  
 各種タオル、寝装製品等の製造・加工及び販売  
 基礎化粧品の販売 / ソフト開発、園芸 その他  
 各種飲食物の製造・加工及び販売



本社・総合受付

### ■ 東京 事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-3 (銀座オミビル)  
**<管理部門>** TEL (03)3567-8551  
 FAX (03)3567-8574  
**<営業部門>** TEL (03)5550-3711  
 FAX (03)5550-3899



東京事務所

### ■ 加古川事業部

**<加古川工場>**  
 〒675-0023  
 兵庫県加古川市尾上町池田850 TEL:(079)422-3891  
 (レーヨン綿・糸の製造)  
**<研究所>**  
 〒675-0025  
 兵庫県加古川市尾上町養田1554 TEL:(079)423-0067  
**<園芸センター>**  
 〒675-0025  
 兵庫県加古川市尾上町養田1543 TEL:(079)427-9666



加古川事業部



青島分公司



上海

### <海外>

■ 近網(上海)商貿有限公司 (中華人民共和国)  
 < 繊維原料・繊維製品の販売 >  
 〒200051 上海市長寧区仙霞路317号  
 遠東国際広場 B座 2216室  
 ◆ 青島分公司  
 山東省青島市香港中路10号  
 TOP頤和国际 A座 1203室





< お問い合わせ先 >

---

**オーミケンシ株式会社**

〒541-8541 大阪市中央区南本町4丁目1番1号

環境対策グループ

☎ 06-6210-5359

Fax 06-6252-5309

---